

2023 年度 YOKOHAMA-SXIP  
派遣プログラム参加学生の声

氏名	奥口穂香		
所属	理工学府 機械・材料・海洋系工学専攻	学年	修士1年
派遣先大学	インド工科大学カンプール校		
期間	2023年8月1日～2023年8月12日		

派遣先大学での研修や語学面で学んだこと

共同研究先の研究室で、研究活動を行っていました。サーベイ論文を読んだり、構造のシミュレーションを行いました。シミュレーションは初めてだったのですが現地の学生に教えてもらい習得することができました。今後、自身の研究に活用していきたいです。語学面では、リスニングやスピーキングが苦手で、初めは上手くコミュニケーションが取れませんでした。期間中に応答表現や会話方法を学び、実践で練習し身に付けることができました。

派遣先の国の生活面、文化や社会的なこと、学んだこと

インドは車線や信号の概念があまりなく、舗装されている道路も少ないです。クラクション音が頻りに鳴り響いたり、道路を渡るのも一苦勞でした。インドでは神様がたくさんいて、日本に近い部分があります。神様の種類なども快く教えてもらい興味深かったです。駅や観光地の近くでは物乞いをする人、物を売る人、車の窓を掃除してお金を稼ぐ子どもたちがいました。日本でも目にすることはありますが、インドではその人数が多いこと、子どもたちでさえも生きていくためにお金を稼ぐ必要があることを目の当たりにしました。私はヒンディー語が分かりませんが、とても心が痛み、子どもたちの訴えかける様子や顔を忘れられないと思います。インドを含め、貧困問題を解決するのはとても難しいことだと感じました。

来年度プログラム参加を考えている学生へ

私は大学内で過ごすことがほとんどでしたが、それでも日本との違いを感じる場面は多くありました。今回、留学やインドに行くのは初めてでしたが、楽しく過ごすことができ、学ぶことも多く、とても良い経験になりました。英語や食事、衛生面など不安なこともあると思いますが、日本では経験できないことが沢山あります。興味がある方はぜひ行って欲しいです。



2023 年度 YOKOHAMA-SXIP  
派遣プログラム参加学生の声

氏名	村上 剛瑠		
所属	理工学府 機械・材料・海洋系工学専攻 機械工学教 育分野	学年	1 年
派遣先大学	IITK		
期間	2023/8/1~2023/8/12		

派遣先大学での研修や語学面で学んだこと

私は派遣先の大学では研究室に所属し研究活動を行っていた。研修先では私の研究分野に近いいくつかの研究室を 1~2 日ずつ訪問していたため実験手法など自身の研究の取り入れることができる部分を学んだ。語学については、大学到着時は現地のアクセントに慣れていなかったが二日ほど経ち慣れてくると十分のコミュニケーションを取ることができた。自分の意思をしっかりと伝えることで、現地の学生も生活を非常に手厚くサポートしてくれ充実した日々を過ごすことができた。

派遣先の国の生活面、文化や社会的なこと、学んだこと

最も違いを感じた点としては食文化で、ベジタリアンの方が多いことに驚いた。寮での食事もそういった人に合わせるためベジタリアン向きの食事が多い印象であった。また人間性については、全くの他人(お客と店員など)に対しては冷たく感じるが研究室の人などは非常に親切かつ様々な活動を積極的にアレンジしてくれ親切だと感じた。

来年度プログラム参加を考えている学生へ

私はこのプログラムを通して、良い語学訓練になったことはもちろん日本や旅行地として有名な欧米諸国とは全く異なる文化を体感することができたため実りある体験ができた。いわゆる先進国ではなかったため初めは不安であったが、行った後は楽しむことができたため参加を迷っている学生には奨めたい。

